

経済指標ウォッチャー

米国雇用統計は非農業部門雇用者数が大幅に増加

新たな職を見つけるには厳しい雇用環境が続く

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月の第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

非農業部門雇用者数は事前予想を上回る

3月5日に米国労働省が公表した2021年2月の雇用統計は、失業率が6.2%と前月の6.3%から0.1ポイント改善しました(図表1)。非農業部門雇用者数は前月比37.9万人増と事前予想同20.0万人増を上回っています。2021年1月の非農業部門雇用者数も速報値の同4.9万人増から同16.6万人増に上方修正されました。

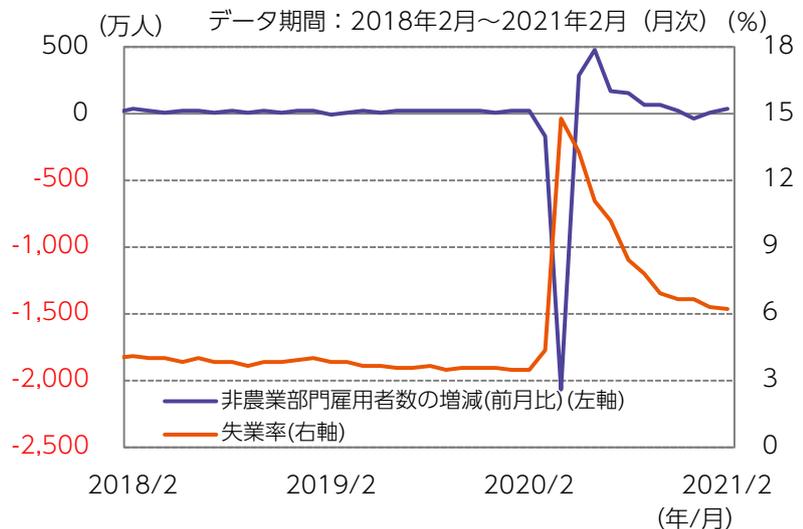
業種別では娯楽宿泊業の雇用者数が前月比35.5万人増となりました。娯楽宿泊業は感染第3波による外出制限などの規制措置により労働者のレイオフ(復職を前提とした一時解雇)を余儀なくされていましたが、規制措置の解除等を受けて、レイオフからの再雇用が進んだものとみられます。

職探しには厳しい雇用環境が続いている

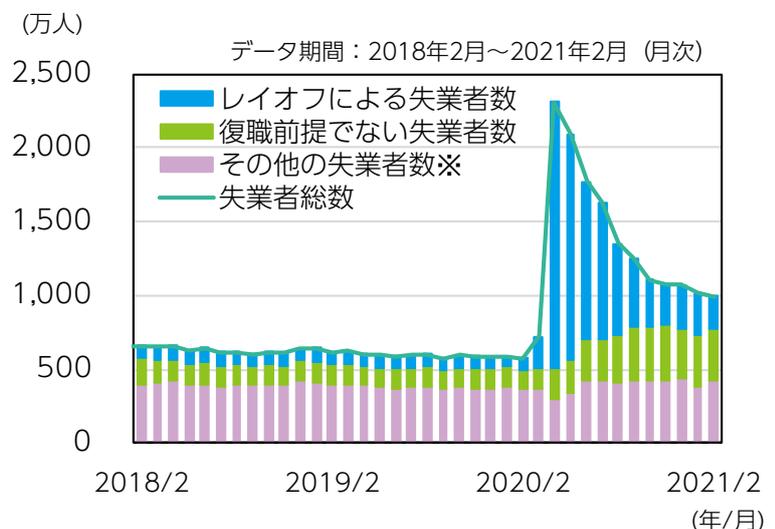
失業率、非農業部門雇用者数ともに改善しているものの、改善ペースは緩やかです。非農業部門雇用者数は新型コロナウイルス感染拡大前の2020年2月の水準に比べ、約950万人減少しています。直近半年間(2020年9月～2021年2月)の非農業部門雇用者数の増加は約190万人であり、このペースだとコロナ前の水準まで回復するには、あと2年半を要すると見込まれます。

2021年2月の失業者総数は997万人と2020年3月以来の1千万人割れとなりましたが、感染拡大前の2020年2月(578.7万人)と比べて高い水準が続いています。内訳をみるとレイオフによる失業者数は減少傾向である一方で、復職前提でない失業者数は高止まりしており(図表2)、新たな職を見つけるには厳しい雇用環境が続いているものとみられます。

図表1：非農業部門雇用者数は大幅に増加



図表2：レイオフ以外の失業者数は高止まり



※その他の失業者数は、自発的離職者、労働市場への参入者の合計

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>